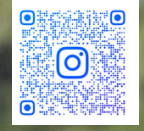


## #させぼアップデート

育てたい街  
暮らしたい街  
訪れたい街

後援会入会

Instagram



公式LINE



▶ 日々の活動は、Instagram Search **本田 ひろし** で検索！！

## ▶ 議員活動・地域活動（抜粋）

## 【育てたい街】



人口減少に伴い、施設等の集約は、都市機能を維持するために必要です。複数機能が集約した公共施設の先進地を視察し、見識を深めました。

## 【訪れたい街】



地域コミュニティが縮小する中で、各種の行事運営に課題があります。地域の新たな枠組みを検討する時期がきていることを実感しています。

## 【暮らしたい街】



激甚災害の頻発化が顕著となっています。日頃から、地域でリスク管理を行い、防災訓練等を通じ、住民の連携を深める備えが求められます。

## ▶ 9月議会を終えて【大きな希望、初めの一步】

佐世保市を含む県北地域に希望の一步です。

日常的に医療的ケアが必要な医療的ケア児等並びにご家族のレスパイト（休息）ケアを担う医療型短期入所が可能な小児科診療所が、来年4月に開業予定で準備が進んでいます。

これまで、佐世保共済病院がその役割を果たしてきましたが、長らく受け入れ休止が続いており、県北地区の大きな課題でした。

昨年9月の一般質問で、医療的ケア児等の皆様の窮状を訴え丸1年、同事業所の理事長と佐世保市が二人三脚で長崎県に粘り強く交渉を重ね、実を結びました。私も微力ながらご助力させていただいただけに、こんなに嬉しいことはありません。

喜びと共に小さなきっかけの一步として、これからも、人に寄り添う議員としてさらに邁進いたします。

## 一般質問の内容が長崎新聞に掲載されました！！

県北「空白」の医療的ケア児短期入所診療所  
佐世保で来春開業へ

＜討議資料＞

人呼吸器やたん吸引など日常的に医療的ケアが必要な医療的ケア児の受け入れを巡り、佐世保市は13日、市内の社会福祉法人が、医療的ケア児を短期入所する小児科診療所の来年度開業を準備していることを明らかにした。県北地域は2021年1月以降、ケア児向け医療型短期入所サービス（SASEBO）の空白地帯となっており、受け入れ態勢の整備が課題となっていた。

同日の市議会一般質問で、本田博之議員（自民党市議会議員）の質問に辻英樹保健福祉部長が答えた。関係者によると、開業を準備しているのは市内で複数の福祉施設運営する宮共生会。今年3月、県の医療審議会が開業に向けた特別診療所の許可についての審議があり、承認された。来年4月の開業を目指しており、病床は7床を予定している。

市などによると、県北地域での医療的ケア児の受け入れ態勢を巡っては、佐世保共済病院が医療型短期入所を21年1月に休止。看護師の人材確保の困難などを理由に現在も再開のめどは立っていない。

辻部長は宮共生会の開業の動きに「願ってもないありがたい話。市としても開設支援にかかる補助金の活用を視野に入れながら、量と質の両面でさらなる充実を図りたい」とした。本田議員は「大変喜ばしいが、小さな一歩」とし、引き続き入所施設確保に努めるよう市に求めた。

宮共生会の原田大理事は「県南、県央に偏っている現状はケア児も、介護されている保護者にとっても大変厳しいものがある。しっかりと準備したい」と話している。

2024年  
9月14日付



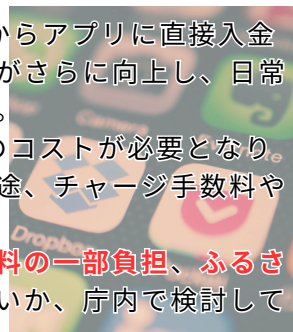
## 1. 地域通貨「させぼeコイン」について（抜粋）

経済循環と地域活性化を目的とした地域通貨「させぼeコイン」の取組の経過と現状、諸課題等について伺いました。



- 問▶** ①新年度となり、新たに取り組んでいる**令和6年度地域通貨発行事業**の内容とその成果をお伺いいたします。  
 ②現在の事業実施に係る**ランニングコスト**についてお伺いします。  
 ③単発の財源に頼らずに、安定的財源が求められますが、**次年度以降の財源**はどのように確保していくのか、本市の考え方を伺います。

- 答▶** ①**十八親和銀行口座と「させぼeコイン」アプリを連携**させ、口座からアプリに直接入金ができる**口座チャージ機能を導入**いたしました。即効性と利便性がさらに向上し、日常使いの決済手段として利用がさらに広がったものと考えています。  
 ②事務局運営費やシステム運用経費において、**年間約16,800万円**のコストが必要となります。新機能の追加や、ポイント還元事業を実施する場合は、別途、チャージ手数料やポイント原資分の予算が必要となります。  
 ③**加盟店の広告掲載料**を財源とすることや、**加盟店による決済手数料の一部負担、ふるさと納税**に関連するシステム運用経費などに活用することができないか、庁内で検討しています。



## 2. 「海風の国」観光マイスター検定について（抜粋）

観光マイスター検定の取組の現状と今後の展開等について伺いました。

- 問▶** ①**観光マイスター認定制度の概要**と、同認定検定の過去5年に渡るマイスター認定目標数と実数、受験者の年齢層・職種などをお示し下さい。  
 ②**国際クルーズ船と観光マイスターの関わり**、並びに今後の観光マイスターの事業展開等について伺います。

- 答▶** ①本市を訪れるお客様に対する**おもてなしの質・満足度の向上を目的**としており、シルバー認定は175名、40代が多く、職種はタクシー関係の方が多く認定されています。  
 ②現在、クルーズ船との連携はないが、**検討していきます**。さらに、より実態の伴う活動展開を構築していき、質の高い観光客へのサービス向上を目指していきます。



## 3. 医療的ケア児等とその家族に対する支援について（抜粋）

医療的ケア児支援並びにレスパイト事業に係る検討・取組の経過と現状等について。

- 問▶** ①**共済病院のショートステイ受入休止**を受けての佐世保市の現在の対応状況は？  
 ②医療型短期入所を兼ねた**診療所の新設**の話の進捗はどのようになっているか？

- 答▶** ①宿泊を伴わない医療型短期入所事業の新規開設、**訪問型レスパイト事業の運用見直し（外出先・通院先での利用拡充）**の実施などで、事業改善に取り組んでいます。  
 ②**令和7年度開設**に向けて、本市も積極的に後押しをしています（表面の記事参照）。



### ▶ 気になるワード

#### < 地域通貨させぼeコイン >

佐世保市が発行する電子地域通貨で、市内の加盟店で利用できるスマートフォン専用の支払い手段です。お得なポイント発行事業などが展開されています。

#### < 「海風の国」観光マイスター >

毎年、佐世保市を中心に観光知識を問う認定試験が実施され、合格された方々のことです。ソフト面における観光産業の環境づくりに寄与されています。

#### < 医療的ケア児 >

自宅や学校などの医療機関以外の場所で、家族、もしくは介護士などが、日常的に行う医療的生活援助行為が必要となる児童を指します。

### ▶ 経 歴

1979	昭和54年	3月22日生まれ
1985	昭和60年	東大野幼稚園 卒業
1991	平成03年	三川内小学校 卒業
1994	平成06年	三川内中学校 卒業
1997	平成09年	佐世保南高等学校 卒業
2002	平成14年	広島大学 法学部法学科 卒業
2003	平成15年	実家の窯業にて父に師事
2006	平成18年	衆議院議員私設秘書・公設第一秘書
2013	平成25年	市長私設秘書
2022	令和04年	社会医療法人財団白十字会 入社
2023	令和05年	佐世保市議会議員 初当選



### ▶ 本田ひろし後援会事務所

【住 所】 〒859-3157  
 長崎県佐世保市桑木場町450-2  
 【電 話】 080-8396-3629  
 【mail】 hiroshihonda.official@gmail.com